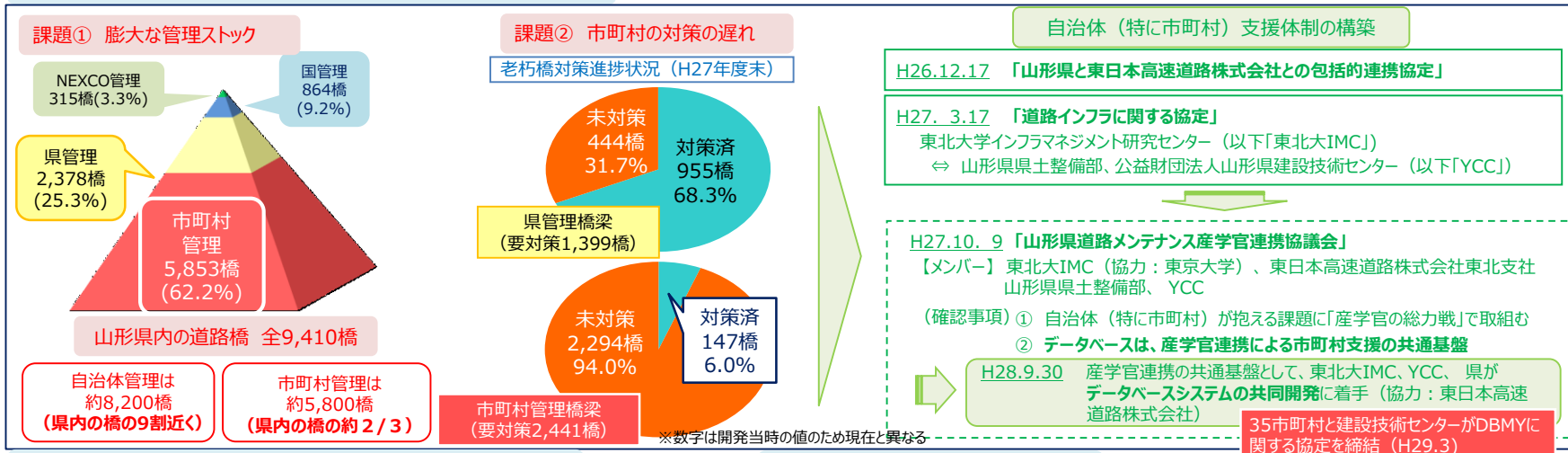


# 道路施設長寿命化対策事業（橋梁管理マネジメント）

「DBMY」：山形県道路橋梁メンテナンス統合データベースシステム Integrated Database System of Bridge Maintenance ,Yamagata Pref.

背景：自治体の抱える課題と産学官連携による支援体制の構築



## 産学官連携によるデータベースシステム（DBMY）の開発

## DBMYの役割と目指す導入効果

※R3から県分・市町村分の全橋梁が閲覧可

DBMYは、SIP研究成果である「自治体向けインフラデータベース」を山形県向けに改良して開発  
⇒ 山形県の様式をこれまで通り使いながら、高品質で使いやすいデータベースシステムを短期間で経済的に導入できた。

**SIP研究成果**  
高度なインフラマネジメントを実現する多種多様なデータの処理・蓄積・解析・応用技術の開発！

SIP（戦略的イノベーション創造プログラム）とは  
内閣府総合科学技術・イノベーション会議が司令塔機能を発揮して、府省の枠や旧来の分野を超えたマネジメントにより、科学技術イノベーション実現のために創設した国家プロジェクト。課題の一つに、「インフラ維持管理・更新・マネジメント技術」がある。（内閣府HPより）

DBMYの機能：

- 登録・更新
- データベースエンジン  
書込み・記録・読出し
- 閲覧・抽出

DBMYでできること

- 定期点検
- 診断調査
- 補修履歴
- 集計表
- 各種帳票

東北大学：これらの取組みが評価され第1回日本オープンイノベーション大賞「国土交通大臣賞」を受賞（H31.3）

DBMYの役割と目指す導入効果

点検 → 情報 → 点検結果 → 診断 → 診断結果 → 記録 → 補修履歴 → 措置 → 情報 → 点検

R1~R3東北大学の指導の下強化

長寿命化修繕計画  
補修マニュアル等への反映

DBMYでできること

- データを迅速、的確に抽出可能
- 蓄積したデータの集計・分析
- YCC・県と市町村がつながる

目指す導入効果

- 一部対応 点検・診断の適正化
- 一部対応 市町村支援体制の充実化

現在の課題

- 劣化状況の時系列把握
- 再劣化の要因分析

現在検討中